

ひといちばい敏感な子ども 【H (Highly) S (Sensitive) C (Child) 】って!?

- ・あらゆる可能性を考えるので不安になりやすい。
- ・他の子ども達だと5や8の刺激が、100くらいに感じる。
- ・ささいなことですぐに泣いてしまう。
- ・他人が怒られていると自分も怒られているような気持ちになる。
- ・小さな物音、微かなにおい、置物の位置など周囲の変化に敏感に気づく。
- ・声のトーン、表情、仕草から相手の機嫌や感情を読み取れる。
- ・世の中にはひといちばい敏感な子ども達があります。そのような子ども達はHSCと呼ばれています。保護者、支援者として、子ども達にどのように関われば良いか、一緒に考えてみませんか。



日時：2024年 **10月17日(木)**
10:15~11:45 (質疑応答含む)・(開場10:00)

入場
無料

会場：西宮市役所東館 7階 第1・第2研修室 (詳細は裏面)

定員：100人 (事前申込あり・先着順)

受付はこちらの二次元コードより →



問合せ先：西宮市教育委員会事務局 地域学校協働課
TEL:0798-35-3868 Eメール:k_shakyo@nishi.or.jp

講師

松井 学洋(まつい がくよう)氏

(関西学院大学 教育学部)

幼児教育コース 准教授)

<学歴>

- ・神戸大学大学院医学系研究科保健学専攻博士後期課程修了
- ・神戸大学大学院医学系研究科保健学専攻博士前期課程修了
- ・神戸大学医学部保健学科看護学専攻卒業

<研究内容>

- ・心拍変動の解析からHighly Sensitive Childの自律神経機能の特徴を明らかにする研究
- ・乳幼児期の重障児の睡眠・覚醒行動の発達過程や夜間の自律神経活動を調査
- ・乳幼児期に特徴的な模倣動作である「バイバイ」に注目し、ハイリスクな子ども達の模倣発達の特徴を研究しています。また、地域連携活動を通して、発達障害を持つ子どもとその家族のサポートシステムの構築を目指している。

病気や障害のある子どもとその家族の支援をテーマに、子どもの発育・発達の特徴を神経学的・生理学的観点から明らかにする研究を行っており、当事者の方々と共に学び、支え合う場として、発達性協調運動障害(DCD)の子どもと家族の会、ひといちばい敏感な子ども達(HSC)と家族の会を主催し、発達支援教室や勉強会を開催。また、「しあわせの村発達障がい児支援専門委員会(2021年9月より)」をはじめとする多数の会議において委員を務めている。





◎ 西宮市役所東館 7階 第1・第2研修室
〒662-0918 西宮市六湛寺町3-1

- ・ JR西宮駅を南に出て、国道2号線沿いを西へ向かって徒歩10分
阪神西宮駅市役所出口を北に出て、徒歩2分
阪急西宮北口駅から阪急バス「朝凧町」行きで「市役所前」下車
さくらやまなみバス「西宮市役所前」下車
- ・ 駐車場（当初60分は無料、以後30分ごとに100円を加算）
西宮市役所東館の地下2階～地上5階部分が駐車場になっています。
- ・ 駐輪場（無料）
市役所本庁舎の駐輪場をご利用ください。

